

3年生 卒業までの カウントダウン！ ～ 完璧を目指すより まずは最後までやり遂げよ ～

3年生は、すでに2月9日からの私学入試と2月15日からの公立前期選抜という大きなヤマ場を乗り越え、今は最大のヤマ場となる3月6日の公立中期選抜に向けて最後の力を振り絞って全力で取り組んでいるところです。進路実現を目標に、学校運営協議会のご協力のもと、学生ボランティアや3年の先生方に支えてもらいながら11月より取り組んできた3年生の土曜学習会も、

残すところ3月2日の1回のみとなりました。私学入試1週間前の学習会では、休憩時間に理事の皆さんから“力餅”が振る舞われ、帰り際には“五角（合格）鉛筆”とお手製のお守りのプレゼントもありました。これまでの道のりを思い出しながらラスト1回、頑張りましょう。

そんな追い込みの時期にふさわしい、何かよい言葉はないかとネットで探していたところ、偶然にこんな言葉を見つけました。



『Done is better than perfect.』（完璧を目指すより、まずは終わらせろ）

これは、フェイスブックの創始者であるマーク・ザッカーバーグ氏が会社のスローガンとしている言葉のひとつで、下のイラストが会社のオフィスに飾られているそうです。このイラストの意味はというと…

クッキーのイラストが2種類。

「Which one would you prefer?
(どちらがお好みですか?)」。と問いかけています。

左の絵は「No cookies because the ingredients weren't perfect.
(材料が足りないからクッキーを作れない。【だから何も食べられない】)」。

右の絵は「Imperfect chocolate chip cookies.
(不完全なチョコレートチップ・クッキー。【でも、食べられる】)」。

材料が足りない。時間がない。そう言っているばかりでは、いつまでたってもクッキーは食べられません。まずはクッキーを作りましょう！話はそれからです。ということをフェイスブック社はスローガンにしているそうです。

入試も中学校生活も残された時間はあと少し。最後は体調も整えながら、ぜひ悔いの残らないように全力で取り組んでくれることを期待しています。

また、すでに進路が内定した生徒もいますが、その人たちも自分自身の進学準備として、そして、これから公立中期選抜に臨む仲間たちのためにも、最後まで気を抜かず学校生活を送ってください。

校内では、3年生を応援しようと、1・2年生一人ひとりが書いたメッセージや美術部のメンバーが制作した“天神さん”“かつ丼”などの装飾を、3年生の教室があるフロアーや階段に掲示をしてくれています。そんな後輩応援団も含めて「受験は団体戦！」です。オール西ノ京で頑張りぬきましょう！



なお、3年生は、3月7日より卒業前行事に入り、卒業証書授与式は、3月15日（金）午前10時開式となっています。9時55分には3年生が入場いたしますので、参列される皆様は9時50分までにはご入場いただきますようお願ひいたします。

6年生の皆さん ようこそ 西ノ京中学校へ！

～ふれあい探検 in 西ノ京～

2月8日（金）の午後、4中9小の小中一貫教育「よんきゅう絆プロジェクト」の取組として、校区4小学校の6年生を迎えて、「ふれあい探検 in 西ノ京」が開催されました。

体育館に集合した6年生たちを前に、生徒会本部役員による渾身のオープニングで幕を開けました。まずは、学校ネタ満載のトリオ漫才。かなり練習したであろう絶妙なボケとツッコミに6年生の緊張も徐々にほぐれ、続く吹奏楽部の華麗な演奏と本部役員の“USAダンス”，部活動紹介メッセージビデオ、そして、学校キャラクター“ニシやん”が登場した最後の交流ゲームの頃にはあちこちで歓声が沸きあがり、すっかり場の雰囲気が和んでいました。

その後は中学校の教科担任制による「授業体験」です。希望により9教科+育成学級にわかった6年生に、中学校の授業の1コマを味わってもらいました



が、ここでも在校生が大活躍！初対面の他の小学校の友達と一緒になり、再び緊張状態になる6年生を、それぞれの教室で見事にサポートしてくれました。

最後は「部活動見学」です。この日は本当に寒い一日でしたが、お目当ての部活を順にめぐって中学生の活動の様子を熱心に眺めていました。



●文化・芸術に触れる貴重な経験 ～豊かな感性、人間性～

「文化財に親しむ鑑賞授業」「京くみひもの体験」

「伝統公演とくべつ授業」「オーケストラ入門教室」「小さな巨匠展」

1月22日（火）、俵屋宗達作「風神雷神図屏風」の複製品を京都文化協会からお借りして、1年生美術科の「文化財に親しむ鑑賞授業」を行いました。複製品とはいえ、製作費は家が一軒建つくらいだと聞いて、近くに寄って見る時に思わず緊張した人も多かったのではないでしょうか。京都国立博物館の学芸員さんから文化財の扱い方や絵の材料についてのお話も聞きながら、構図や色について考え、作者が何を表現したかったのかに迫っていく授業でした。

2月1日（金）、1年生家庭科で「京くみひもの体験」を行いました。指導に来ていた職人の指導のもと、よった2色の糸を決まった手順で組あげて15センチほどのストラップを仕上げました。京都にはこの京くみひものような伝統的工芸品が17品目指定されているそうです。一度調べてみてください。

2月5日（火）、1年生が京都コンサートホールで行われた「オーケストラ入門教室」に参加しました。京都市交響楽団の演奏は素晴らしい、また、今年度の指揮者体験には本校生徒が代表でステージに上がらせていただき、大勢の観客の前で生き生きとした指揮を披露してくれました。

2月6日（水）、2年生が京都観世会館で行われた「ようこそ和の空間～伝統公演とくべつ授業」に参加しました。普段なかなか触れることがない伝統文化・古典芸能に、若いうちから少しでも興味を持ってもらおうと今年から京都市で始められた取組で、「能」・「狂言」・「長唄」といった違うジャンルのものを一度に鑑賞できる貴重な時間となりました。

2月21日（木）～3月3日（日）、堀川御池ギャラリーで「小さな巨匠展」が開催されています。これは、市立小中の育成学級、小の難聴学級、教育大附属小中の特別支援学級の児童生徒の作品を一堂に集めた学習成果の発表です。本校生徒の作品は28日から始まる後期に展示の予定です。近くですのでぜひお立ち寄りください。

